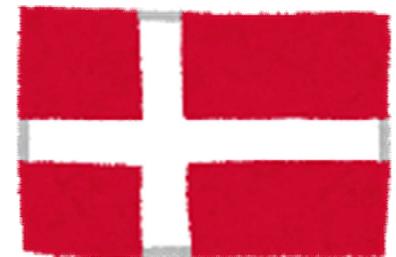




東京 2020 オリンピック・パラリンピック 登別市におけるホストタウンの取組



登別市の概要



登別市は、北海道の南西部に位置し、東西 18.5 km、南北 22.6 km にわたり、面積は 212.21 km² となっています。

豊富な湯量を背景に、登別温泉、カルルス温泉を中心とした観光産業が盛んです。

気候は、夏は涼しく、冬は北海道の中でも比較的温暖で、降雪量も少ないことから、一年を通じて過ごしやすい地域です。

季節ごとの風景の変化が大きく、自然の営みを身近に感じることができます。

※人口：46,401 人（令和3年3月末現在）

登別市の温泉の概要

登別市は日本を代表する温泉リゾート地で、国内外から毎年約400万人もの観光客を迎えています。

登別温泉の大きな特徴は、9種類もの源泉が湧き出していること。これは世界的にも珍しく、登別温泉は『温泉のデパート』とも言われています。また、山峡の名湯として名高いカルルス温泉は、北海道第一号の「国民保養温泉地」に指定され、多くの方が保養に訪れます。

最近では、国内のほか、中国、台湾、韓国、香港など、海外から訪れる人も年々増加し、約52万人が宿泊しております。そのため、温泉街では外国の言葉や文化を学ぶなどして、海外からのお客様のおもてなしにも力を入れています。温泉は、疲労回復に効果があることから、競技を終えたアスリートの疲れを癒すには最適です。



※訪日外国人（国・地域別）宿泊延べ数

- 1位：中国 119,577人
- 2位：台湾 108,668人
- 3位：韓国 52,277人
- 4位：香港 33,232人

注）令和元年度数値

デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市との友好都市の提携

登別市とデンマーク王国との交流は、1990年7月に開園した水族館である登別マリンパークニクスのニクス城が、デンマーク王国のリング市（現ファボー・ミッドフュン市）にある「イーエスコー城」をモデルに建設され、開園式にイーエスコー城主夫妻をはじめミッドフュンズ高校の合唱団総勢52名が登別市を訪問したのがきっかけで始まりました。その後、民間団体による活発な交流を経て、1997年（平成9年）に、デンマークのリング市（当時）、ウィスリング市（当時）と登別市の3市で、市民同士の友好とお互いの理解を深めるため、「友好の絆 Bond of Friendship」を取り交わしました。

また、10年後の2007年（平成19年）には、リング市、ウィスリング市が近隣のまちと合併し誕生したファボー・ミッドフュン市と、さらなる市民交流・文化交流の推進を目指して、「友好都市協定」を結び、現在の友好関係に至っています。



※登別マリンパークニクスの水族館ニクス城



※イーエスコー城

デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市とのこれまでの交流の歩み

- 1990年 7月 登別マリンパークニクスが開園。
- 1992年 8月 登別市の中学生を初めてデンマーク王国に派遣。
- 1995年 11月 リング・ウィスリング・登別友好協会設立（設立当時：会員約100名）。
- 1996年 6月 登別デンマーク協会設立（設立当時：個人会員77名、法人会員11団体）。
- 1997年 5月 登別市とリング市・ウィスリング市が「友好の絆」を交わす。
- 2000年 7月 登別マリンパークニクス開園10周年と登別市の市制施行30周年を祝うため、リング・ウィスリング・登別友好協会の会員が来訪。
- 2007年 6月 登別市とファボー・ミッドフュン市が「友好都市協定」を締結。
- 2010年 7月 登別マリンパークニクスの開園式にミッドフュンズ高校の合唱団の一員として来登した音楽家ポール・バルスレウ氏が、登別市の市制施行40周年記念事業としてピアノコンサートを開催。
- 2015年 7月 登別マリンパークニクス開園25周年を記念して、ファボー・ミッドフュン市より22名が来訪。



※ 2015年7月
ファボー・ミッド
フュン登別友好協会
来訪



※2010年7月 ポー
ル・バルスレウ氏に
よるピアノコンサー
ト

市民による交流

登別市では民間団体においてデンマーク青年研修員の定期的な受け入れ事業を実施しており、1994年度からこれまで29名の青年研修員が、ホームステイをしながら日本の家庭生活を体験するとともに、市役所や市内小中学校、民間文化施設で、デンマークの紹介や日本文化に触れる体験を通して、多くの登別市民と交流しています。

また、登別デンマーク協会の取組として、毎年1～2名の青年会員をファボー・ミッドフュン市に派遣しており、2003年度からこれまで17名の協会員を派遣するなど、市民レベルでの交流が活発に行われております。

なお、市民レベルでの交流においては、ファボー・ミッドフュン登別友好協会（会長：リズィ・サンダー氏）と登別デンマーク協会（会長：上田俊朗氏）の長きに渡る友好関係により継続して実施されているところであり、このことは市の国際交流の推進に大きく寄与していただいています。

こうした尽力に対し、登別市として感謝の意を表すべく、令和元年度北海道社会貢献賞に両会長を推薦し、受賞されました。



※2017年 デンマーク王国からの研修生
イエスパー・エルバック・イエセン氏が
登別市長を表敬

登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

1992年からこれまで、251名の派遣交流団員が、友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市を訪問し、ホストファミリーのもとでホームステイをしながら現地の中学生や地元の方々と交流を深め、日本との異なる生活や文化を体験することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身に着けるとともに、デンマーク王国との更なる交流推進の一役を担っています。

本事業については、ファボー・ミッドフュン登別友好協会と登別デンマーク協会の両民間団体に協力をいただきながら実施しておりますが、令和2～3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。令和4年度以降については、新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業実施を判断します。

※2016年 イーエスコー城を背に派遣交流団員とホストファミリーが交流



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン

ホストタウンの登録と目的

ホストタウンとは・・・

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の関係国や参加者との人的・経済的・文化的な相互交流を図ることを通して、地域の活性化などを推進する自治体のことです。

平成29年10月、本市は、在札幌デンマーク王国名誉領事館を通じて、駐日デンマーク王国スヴェイネ大使にホストタウン登録に向けて協力を依頼したところ、快く承諾をいただいたことから、ホストタウン第五次登録に申請したところ、平成29年12月11日、デンマーク王国を相手国としたホストタウンに登録されました。

また、共生社会の実現に向けた取組を実施する共生社会ホストタウンについても、令和2年4月7日に登録されました。

【本市におけるホストタウンの目的】

- 1 子どもたちがオリンピック・パラリンピアンから直接スポーツの素晴らしさを学ぶことで、自分も将来オリンピックに出場したいといった夢や希望を持つきっかけづくりにつなげる。
- 2 ホストタウンを契機としてデンマーク王国の関係者とより多くの市民が交流することで、さらなる国際交流の推進を図る。また、ホストタウンとしてあたたかいおもてなしの心でお迎えし、当市の魅力を発信することにより、インバウンドの拡大につなげる。
- 3 パラスポーツを通して障がいへの理解を深めてもらい、共生社会の実現に向けたきっかけづくりにつなげる。
- 4 市制施行50周年記念事業とタイアップし、国際交流やスポーツ振興の推進の機会とする。



登別市交流計画の概要

団体名	北海道 登別市
相手国・地域	デンマーク

2016～
(大会開催まで)

市民への周知

- ・デンマーク王国大使による講演会や市民との交流会の開催
- ・国際理解講座
- ・小中学校での出前授業（文化紹介）
- ・応援SNSの立ち上げ
- ・公共施設等へのデンマーク王国PRコーナーの設置



【市民の応援機運を高める】



オリンピック・パラリンピアンとの交流

- ・日本人選手による講演、競技体験【スポーツ教育】



2020
(大会中)

相手国の応援・交流

- ・相手国関係者との交流会の開催
- ・応援団の派遣
- ・パブリックビューイングによる応援
- ・子どもたちによる応援メッセージの作成

【応援への市民参加】



2020
(大会直後～)

- 競技終了後
オリンピック・パラリンピアンとの交流
- ・報告会
- ・スポーツ交流

【選手と市民の交流】
※交渉によっては2018から実施の可能性あり



選手によるスポーツ指導等



交流の継続

登別市～ファボー・ミッドフン市（デンマーク）友好都市交流事業
(中学生派遣交流事業やデンマーク成年受入事業をはじめ交流事業の拡大を目指す)
【ファボー・ミッドフン市との相互交流がホストタウン事業の基盤】



登別市内スポーツ競技人口

子どもたちが親しみやすく、市内に少年団やスポーツ教室があるなど、スポーツ交流が図れる競技が望ましいと考えており、当初、以下の競技を中心に、登別市を訪問していただける競技団体がないか調整をしておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により登別市への訪問を中止したことから、スポーツ種目の決定に至ることができませんでしたが、デンマーク王国の選手が出場する競技を広く応援します。

競技	競技人口	備考
バドミントン	367人	登別市バドミントン協会会員数 登別市スポーツ少年団登録者数
水泳	127人	登別水泳協会会員数
卓球	121人	登別卓球協会会員数
テニス	141人	登別ソフトテニス協会会員数
陸上	19人	登別市スポーツ少年団登録者数

注) 平成30年度末時点

※こいのぼりマラソン



東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組について

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的に、次の事業を実施しています。

➤ **平成28年5月 日本人オリンピック（千葉真子氏）によるトークショー及び実技指導**

陸上の元オリンピック選手である千葉真子氏を招き、講演会や実技指導を行いました。

➤ **平成29年10月 日本人オリンピック（小椋久美子氏）によるトークショー及び実技指導**

バドミントンの元オリンピック選手である小椋久美子氏を招き、トークショーや実技指導を行いました。



※こいのぼりマラソンに参加する千葉氏



※実技指導をする小椋氏

ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

①平成30年4月 前駐日デンマーク王国スヴェイネ大使来訪に伴う講演会及び交流会

前駐日デンマーク王国スヴェイネ大使がはじめて本市を訪れ、交流の契機となった登別マリンパークニクスなどを視察するとともに、訪問先の中学校では、全校生徒と市民に対し、デンマーク王国の文化・生活・スポーツなどについて講演いただいたほか、高校生とは通訳を介さない英語のみでの交流を行い、デンマーク王国の教育や文化などについて、理解を深めました。

※登別マリンパークニクス



※中学校での講演会



※中学生・高校生との英語での交流



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

②平成30年8月 登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

市内の中学生6名、引率者2名をデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流やホームステイなど日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育み、ファボー・ミッドフュン市との交流を行いました。

なお、平成30年度から、ホストタウン登録を記念した新たな試みとして、前駐日デンマーク王国スウェーデン大使のご尽力により、デンマーク王国滞在中の派遣団が、デンマークオリンピック委員会・スポーツ連合(DIF)所管のオリンピック関連施設を視察しました。

③平成30年9月 日本人オリンピックによるトークショー及び実技指導

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、リオデジャネイロオリンピック卓球日本代表である丹羽孝希氏によるトークショー及び小中学生や高校生を対象とした実技指導を行いました。

※丹羽氏による実技指導



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

④平成30年10月 運動と食事をテーマとした父と子の親子料理教室

東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーである(株)明治の食育プログラムを活用し、(株)明治からの派遣講師より、バランスの良い食事のとり方をはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて練習を重ねているトップアスリートの事例も交えて、スポーツと栄養に関するセミナー及び料理教室を開催しました。

※親子料理教室の様子



⑤平成30年11月～12月 A4S (アクティブ・フォー・スリープ) プロジェクト

独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC) と(株)エアウィーヴが連携するA4Sプロジェクトを活用し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、機運の醸成や市民のスポーツに親しむ機会の創出のほか、健康増進を図るため、市民のホストタウンへの理解を深めるとともに、良質な睡眠の確保と運動習慣の定着を目指した取組を行いました。

※プロジェクトの様子



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑥平成30年11月 国際理解講座

市民のデンマーク王国に対する理解を深めるため、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、本協議会「バリアフリー」の幹事企業である富士通(株)の協力をいただき、(株)富士通総研の社員で、デンマーク王国に5年間居住経験のある森田麻記子氏を講師として招き、市民にデンマーク王国の文化や歴史などを紹介する国際理解講座を開催しました。

※「LiveTalk」による翻訳支援を実施。

※森田氏による講座の様子



⑦平成30年12月 パラアスリートによる講演

障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるため、地方創生に関する包括連携協定を締結したあいおいニッセイ同和損害保険(株)所属の障がい者スポーツ選手である松元卓巳氏(競技:デフサッカー※聴覚障がい者によるサッカー)を12月の「障害者週間」にあわせて招き、小学生を対象としたサッカー教室と市民を対象とした講演会を開催しました。

※松元氏によるサッカー教室



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑧令和元年6月 のぼりべつ夏祭りでのホストタウンPRブースの設置

市内で開催される「のぼりべつ夏祭り」において、登別市のホストタウンとしての取組をPRするブースを設置し、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図りました。

ブース内では、同大会のオフィシャルパートナーである東武トップツアーズ(株)の協力のもと、パラリンピック競技であるボッチャの体験やノベルティの配布を行いました。

⑨令和元年8月 登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業

市内の中学生9名、引率者3名をデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流やホームステイなど日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育み、ファボー・ミッドフュン市との交流を行いました。

前年度に引き続き、前駐日デンマーク王国スヴェイネ大使のご尽力により、デンマーク王国滞在中の派遣団が、デンマークオリンピック委員会・スポーツ連合(DIF)所管のオリンピック関連施設を視察しました。

ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑩令和元年9月・11月・12月 市内小中学校での食育セミナー出前授業

東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーである(株)明治の東京2020公認プログラムである食育セミナー出前授業を市内小中学校児童・生徒を対象に実施しました。

オリンピックの実際の食事の写真を用いて、バランスの良い食事の重要性や、カカオ産出国の現状を通じた国際理解について学びました。講話後には、牛乳を使ったドリンク作りの体験も行いました。

※体験授業の様子



⑪令和元年9月 日本人オリンピックによるトークショー及び実技指導

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、東京2020オリンピックに出場が内定した競泳選手である瀬戸大也氏によるトークショー及び小中学生を対象とした実技指導を行いました。

たくさんの方に集まっていただける機会となるため、同日同会場において、オリンピックのワールドワイドパートナーであり、聖火リレーの支援も行うコカ・コーラ社により、実物の聖火リレートーチの展示を行いました。

※瀬戸氏による実技指導の様子



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑫令和元年9月～10月 A4S (アクティブ・フォー・スリープ) プロジェクト

前年度に引き続き、JSC と(株)エアウィーヴが連携するA4Sプロジェクトを活用し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた、機運の醸成と市民の健康増進を図るため、A4Sプロジェクトを実施しました。

令和元年度は、これまでも実施していた子育て中の母親を対象とした健康増進のためのヨガ講座と連動して実施することで、定期的な運動習慣と良質な睡眠の獲得を目指しました。

⑬令和元年10月 父と子の親子料理教室～チョコレートを通して国際理解を深めよう～

東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーである(株)明治のプログラムを活用し、市内の父と子を対象に、料理教室とチョコレートを通じた国際理解についてのセミナーを開催しました。

ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑭令和元年9月・11月 国際理解講座

市民のデンマーク王国に対する、国際理解を深め、国際交流を推進することを目的に、デンマーク王国居住経験のある講師を招き、国際理解講座を開催しました。

9月には、国立大学法人室蘭工業大学の准教授である三村竜之氏から「北欧デンマークのクリスマス」をテーマにお話しいただきました。

11月には、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、本協議会バリアフリーの幹事企業である富士通(株)の協力により、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターで助教授としてデンマーク領グリーンランドに関わる研究をされている高橋美野梨氏から「デンマーク王国の自治領グリーンランド」についてお話しいただきました。

⑮令和2年2月 ホストタウンPRシールの展開

東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、本大会に向けた市民の機運醸成を図るため、ホストタウンPRシールを作成しました。

オリンピックのワールドワイドパートナーであるコカ・コーラ社の地域ボトラー社、北海道コカ・コーラボトリング(株)の協力により、同社が販売する飲料水ペットボトルのキャップに、作成したPRシールを貼ることで、多くの市民の目に触れるよう展開しました。

※PRシールデザイン案



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑩令和2年10月 『Be Smile Festival ～子どもたちに笑顔を～』の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、東京2020オリパラが延期となり、当初予定していたデンマーク王国のパラ選手を登別市に招聘できなかったため、将来を担う子どもたちにオリパラや共生社会への理解を深めてもらうことを目的として、登別市市制施行50周年記念事業とタイアップし、登別マリンパークニクスにて『Be Smile Festival ～子どもたちに笑顔を～』を実施しました。

デンマーク王国とのビデオによる映像交流や車いすテニスプレイヤー眞田卓氏とのオンラインによるトークショー、オリンピック聖火ランナーであるさなかクンによるトークショーなどを実施し、これまでのデンマーク王国との交流の歴史や、スポーツの素晴らしさ、共生社会に対する理解を深めることができました。

※Be Smile Festival 開催前



※デンマーク市民へのメッセージ



※オンライントークショー



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑰令和3年1月 ホストタウンポスター

オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図るため、デンマーク王国との交流やホストタウンの取組、今後の展望等を記載したポスターを作成しました。

令和3年2月20日～21日、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催のホストタウンサミット2021（オンライン）や市内公共施設、小中学校及び高校に掲示して、多くの市民の目に触れるよう展開しました。

※ホストタウンポスター



⑱令和3年11月～2月 登別版バリアフリーマップ

市内外や海外から障がいのある方が本市を訪れる前又は訪れた際に、公共施設や駅、温泉宿泊施設、景勝地等のバリアフリー情報をインターネット等で確認することにより、障がいのある方等に対してやさしいまちづくりを目指し登別版バリアフリーマップを作成しました。

Googleマップにバリアフリー情報を掲載することで、どこでも情報を確認することができるようになりました。

※登別版バリアフリーマップ



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑱令和3年2月 ホストタウンリーダー賞受賞

令和3年2月21日、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催、オンラインで行われたホストタウンサミット2021で市職員がホストタウンリーダー賞を受賞しました。

ホストタウンリーダー賞とは、ホストタウンの推進に多大な役割を果たした自治体職員を表彰するもので、デンマーク王国のホストタウンとして、登別マリンパークニクスで行ったデンマーク市民との映像交流や車いすテニスプレイヤーの眞田氏とのリモートトークショーなどの取組が評価され、令和2年度、道内で唯一の表彰となりました。

※ホストタウンリーダー賞 賞状



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑱令和3年5月～ デジタルモザイクアートの制作

東京2020オリパラが開催される令和3年中に、デンマーク王国のパラ選手を登別市に招聘して市民と交流する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により招聘を断念しました。

ホストタウンとしての交流を絶やさず、デンマーク王国の選手を応援するため、登別市民などから写真を募集しデジタルモザイクアートを制作します。

オリンピック開幕前の7月中旬に完成させ、デンマーク王国関係者へ送るとともに市内の公共施設等で展示を行います。

※デジタルモザイクアート完成案



登別市交流計画の概要(実施状況)

2021年5月10日時点

団体名	北海道 登別市
相手国・地域	デンマーク

2016～
(大会開催まで)

市民への周知

- ・デンマーク王国大使による講演会や市民との交流会の開催→**実施済み**
 - ・国際理解講座→**実施済み**
 - ・小中学校での出前授業(文化紹介)→**実施済み**
 - ・応援SNSの立ち上げ→**手法を変更し実施**
 - ・公共施設等へのデンマーク王国PRコーナーの設置→**実施済み**
- 【市民の応援機運を高める】



2020
(大会延期)

相手国の応援・交流

- ・相手国関係者との交流会の開催→**中止予定**
 - ・応援団の派遣→**中止予定**
 - ・パブリックビューイングによる応援→**中止予定**
 - ・子どもたちによる応援メッセージの作成→**実施予定**
- 【応援への市民参加】



オリンピック・パラリンピアンとの交流

- ・日本人選手による講演、競技体験【スポーツ教育】→**実施済み(2021年度中止予定)**



2021
(大会中)

- 競技終了後
オリンピック・パラリンピアンとの交流
- ・報告会
 - ・スポーツ交流→**中止予定**

【選手と市民の交流】
※交渉によっては2018から実施の可能性あり



選手によるスポーツ指導等

交流の継続

2021～
(大会直後～)

登別市～ファボー・ミッドフン市(デンマーク)友好都市交流事業
(中学生派遣交流事業やデンマーク成年受入事業をはじめ交流事業の拡大を目指す)
【ファボー・ミッドフン市との相互交流がホストタウン事業の基盤】
→**実施済み(2020・2021年度中止、2022年度以降実施予定)**



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン



2020年の東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通じて、日本とデンマークの友好の懸け橋となれるよう取り組んでまいります。

